

学際共同利用

利用開始までの流れ

※以降のページでは各段階で行う作業について以下の図形で記載しています。

システム側(筑波大・東大)が行う作業

全利用者が行う作業

プロジェクト代表が行う作業

- 2022年12月 更新
- 2022年1月 更新
- 2021年12月 更新
- 2021年3月 更新
- 2020年3月

公募開始から採択まで

学際共同利用公募開始

申請は学際共同利用申請システム(indico)によりオンラインで受け付けます。
代表者自身のメンバー登録を含め、プロジェクトメンバー登録を忘れずに行ってください。

プロジェクト代表者

1. 学際共同利用申請システム(indico)のアカウント取得※1
2. プロジェクト申請
3. 自身をプロジェクトメンバー登録
4. プロジェクトメンバーへ申請ID(受付番号)とメールアドレスを連絡
5. 全プロジェクトメンバーの登録状況確認

※1 indicoのアカウントは1人1つです。2つ以上取得しないでください。一度取得したアカウントは次年度以降も有効です。
過去にアカウントを取得したことがある場合はそのアカウントを使用してください。
但し、アカウントのメールアドレスが無効になった場合には、My profile からメールアドレスを変更してください。必ずメールを受け取れることが申請の絶対条件です。

プロジェクト代表およびそれ以外のメンバー

1. プロジェクトメンバー登録
(indicoのアカウントおよびログインは不要。
代表から申請IDとメールアドレスを教えてもらう必要有り。)

審査・採択通知

採択通知に加えて、利用スパコンに応じたスパコンアカウント登録関連の案内がメールで届きます。
その指示に従ってスパコンアカウントを登録してください。

採択後：Wisteria-Oアカウント登録の流れ

メールによるユーザ情報問い合わせ
(プロジェクト代表による課題ユーザ認定)

・「課題ユーザ認定ファイル」にユーザ情報を記載して提出

海外機関に所属である

yes

・外国人および海外在住者用安全保障貿易管理のための申請書を提出

no

登録プロジェクト・ユーザ情報作成
東京大学へアカウントの作成依頼、アカウント作成

東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームへ利用許可確認

アカウント登録完了をメール通知または
プロジェクト追加完了をメール通知

※ 継続の場合でもジョブの投入は課題代表によるユーザ認定後です。
※ アカウント名は機械的に割り振られます。
※ 継続ユーザで海外転出の場合は海外利用の申請が必要になります。
※ 東大側とのアカウント登録情報のやり取り、及び登録には時間がかかる可能性があります。

継続利用である

yes

・既存のアカウントを引き継いで利用(公開鍵等)
(新しいプロジェクトに参加の場合、プロジェクトへの追加完了がメール通知がされます。)

no

Wisteria利用支援ポータル
の初期パスワードをメール通知

・Wisteria利用支援ポータルにブラウザでアクセスし、公開鍵を登録する
(利用支援ポータルのURLなどの情報はアカウント登録完了通知内にあります。)

※ 初期パスワードはssh公開鍵を登録するWebのWisteria利用支援ポータルにログインするためのものです。

利用開始

採択後: Cygnus/Pegasusアカウント登録の流れ

Cygnusアカウントの登録について

アカウント登録案内(メール)送付

※ アカウントは1人につき1つです。過去にCCSのスパコン(T2K-tsukuba, HA-PACS, COMA, Cygnus)を利用したことがある場合はそのアカウント名を引き継ぎます。

※ 統一認証IDも一人につき1つです。CCSが発行する007で始まるIDは削除希望の連絡をいただかない限り有効です。過去に取得したことがある場合はそのIDをお使いいただくことになります。

※ 継続ユーザで海外転出の場合は海外利用の申請が必要になります。

※ アカウント登録案内(メール)は代表者に送付されますので、必要に応じ所属されるユーザへ展開願います。

